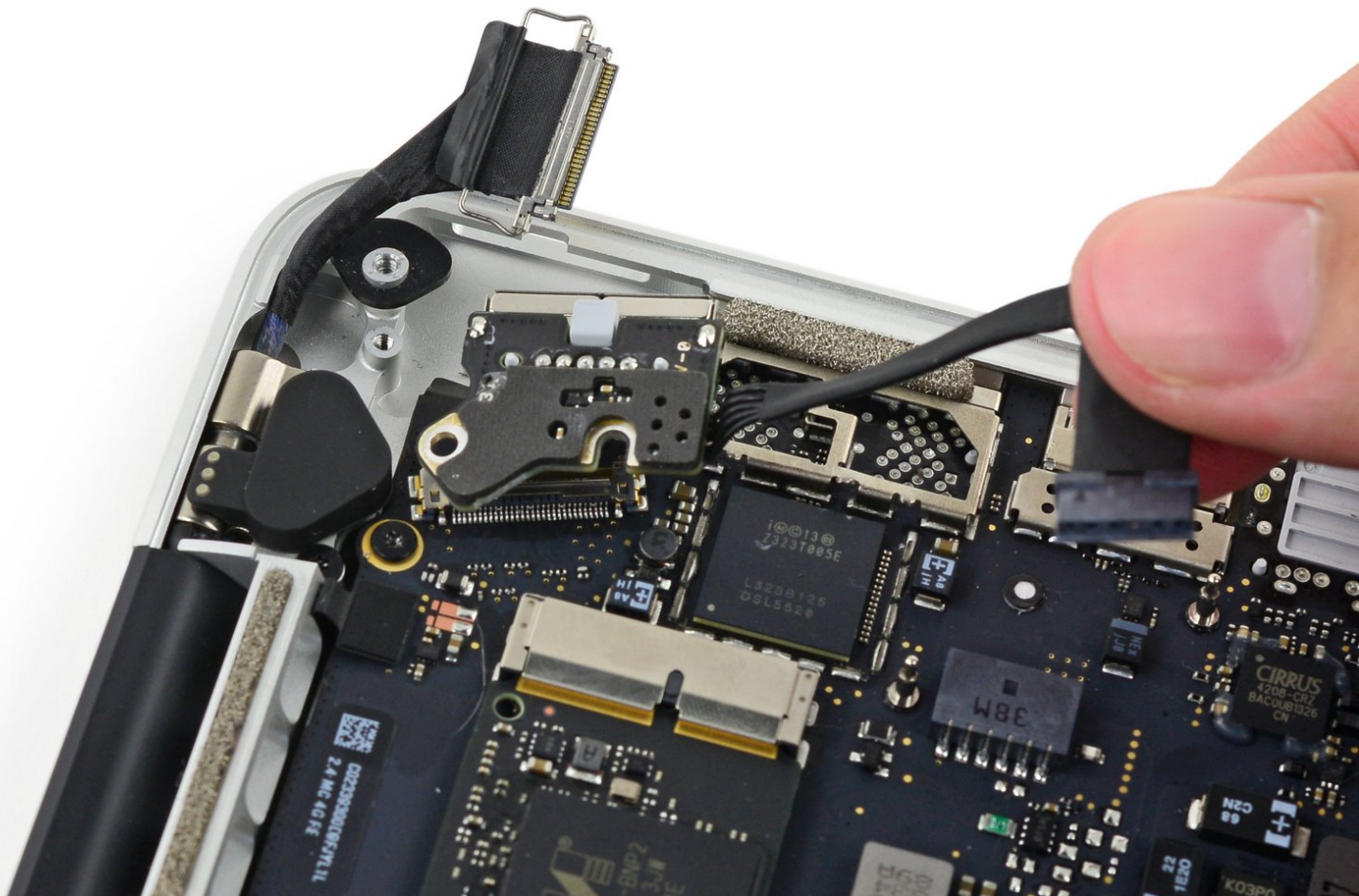




MacBook Pro 13インチ Retina Display Early 2015 MagSafe DC-Inボードの交換

MacBook Pro 13インチ Retina Display Early 2015に搭載されたMagSafe DC-Inボードの交換をします。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

壊れたMagSafe DC-Inボードの交換をします。



ツール:

- [P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T5トルクスドライバー](#) (1)



部品:

- [MacBook Pro 13" Retina \(Late 2013/Early 2015\) MagSafe 2 DC-In Board](#) (1)

手順 1 — 底ケース



- 上部ケースと底ケースを留めている次の10本のネジを外します。
 - 2.3 mm P5ペンタローブネジ–2本
 - 3.0 mm P5ペンタローブネジ–8本
- この修理では、[各ネジの装着位置をメモ書きして管理](#)してください。再組み立ての際は、デバイスにダメージを与えないよう、正しい場所に装着してください。

手順 2



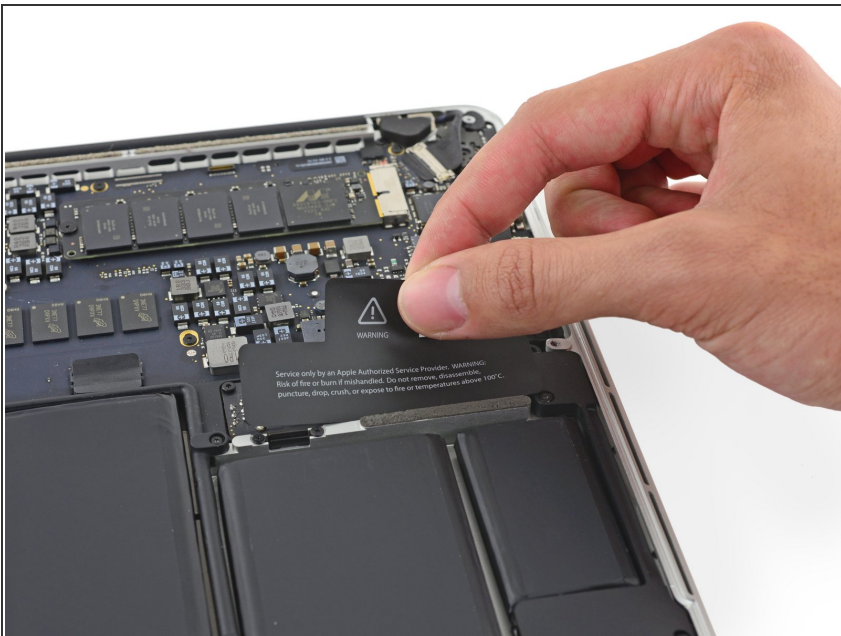
- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- ゆっくりと底ケースを上部ケースから離していきます。

手順 3



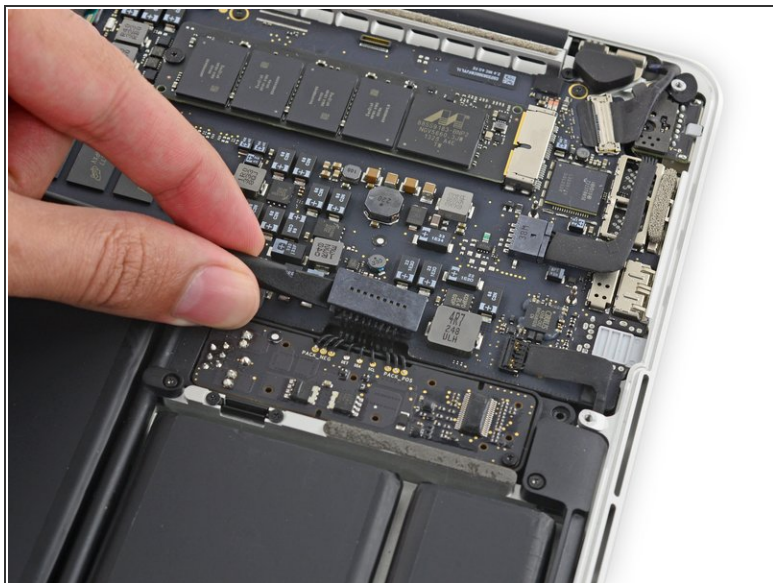
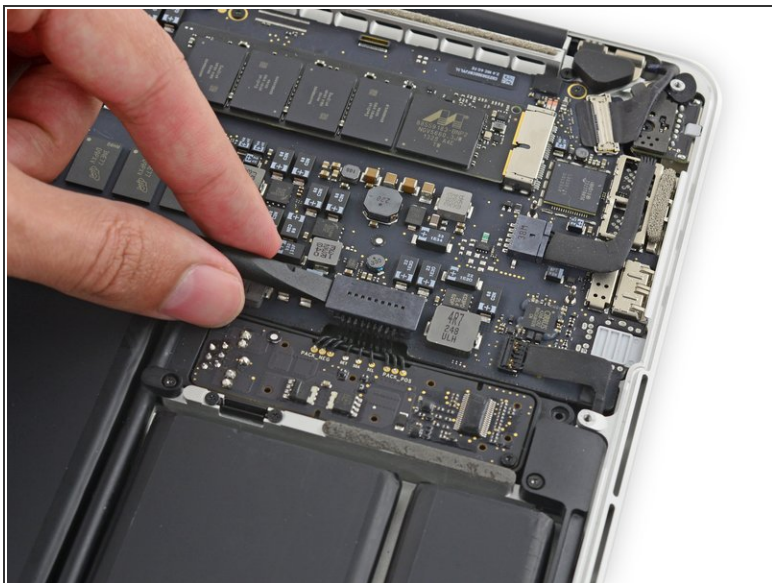
- ❗ 底ケースは上部ケースと2つのプラスチック製クリップで中央付近に接続されています。
- 👉 再組み立ての際は、丁寧に底ケースの中央を2つのプラスチック製クリップに接続するように押し込んでください。

手順 4 — バッテリーコネクター



- ❗ 必要に応じてバッテリーの接続ボードに留められているプラスチック製カバーを外してください。

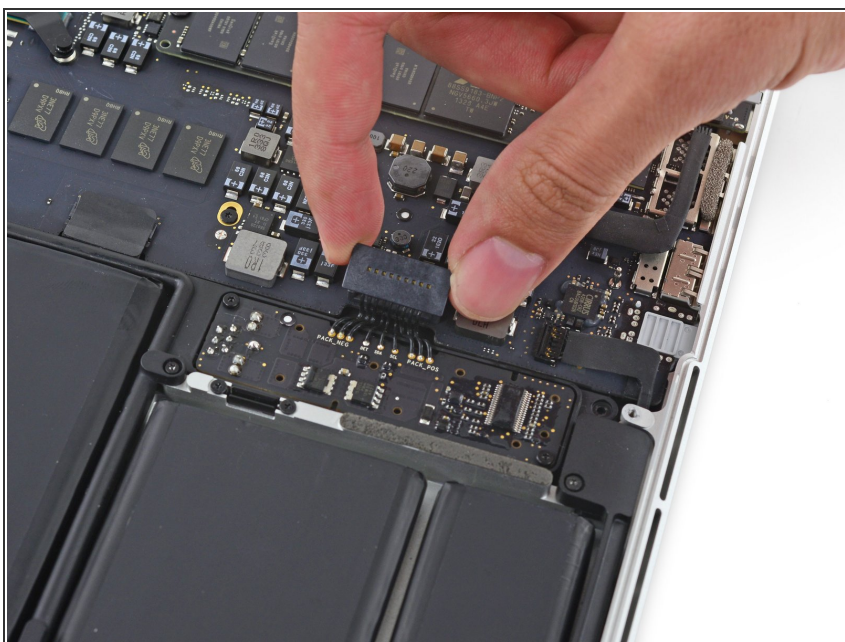
手順 5



- スパジャの平面側先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げます。

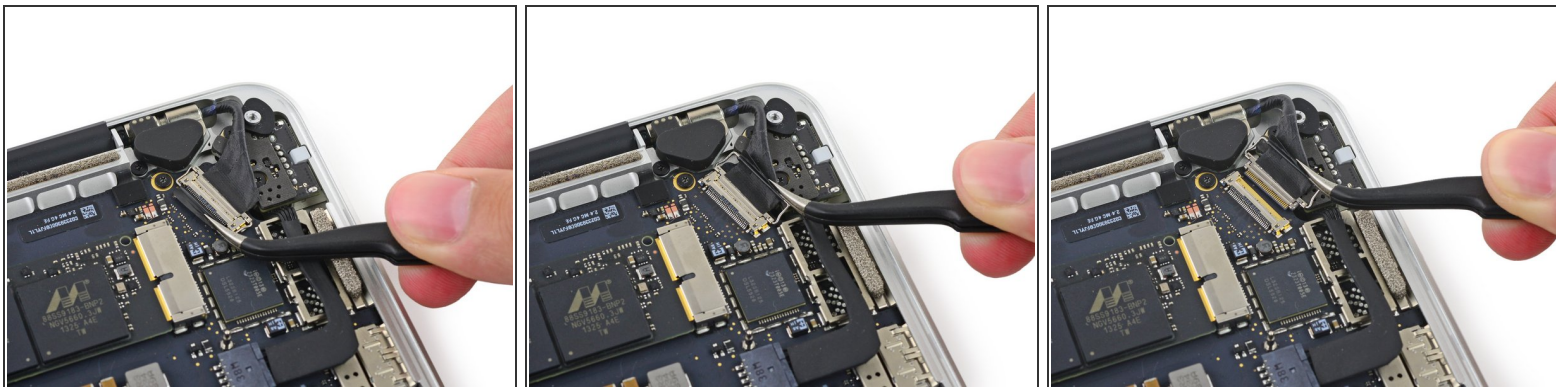
! コネクタのみ持ち上げるよう確認しながら作業を進めてください。ソケットには接触しないでください。ロジックボードに永久的なダメージを与えてしまうことがあります。

手順 6



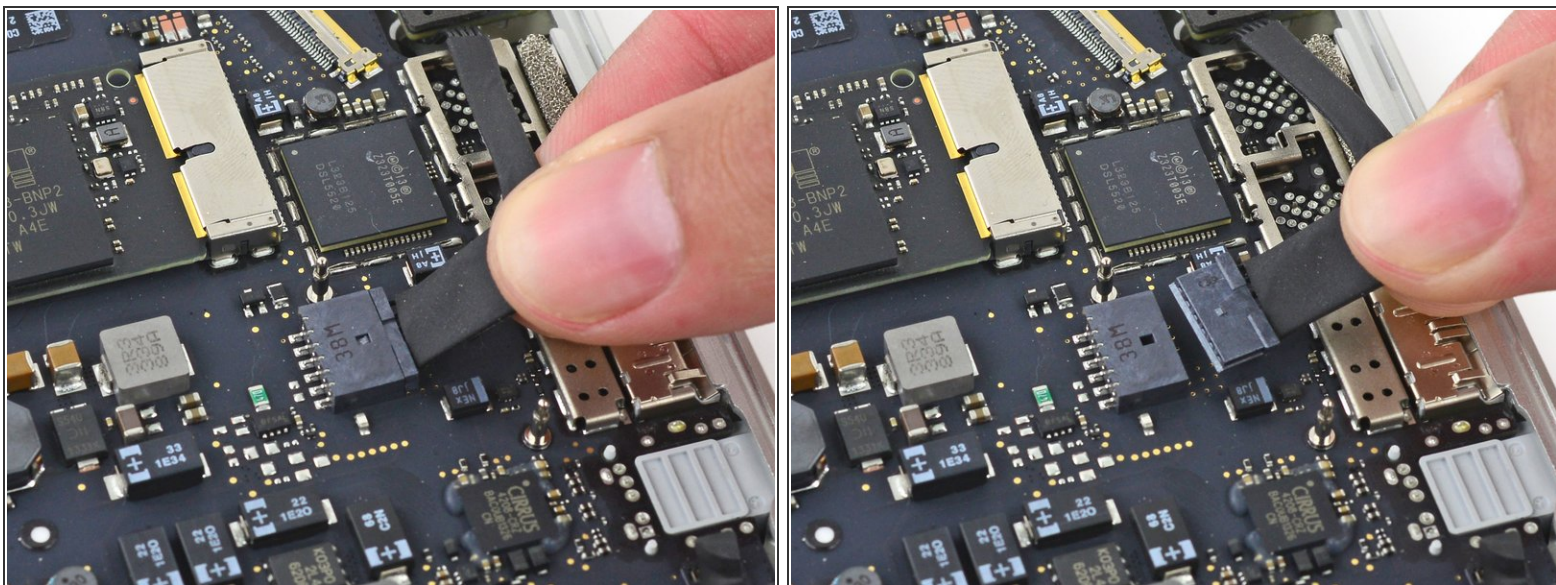
- ★ 修理作業中、アクシデントによりソケットがバッテリーコネクタに接続しないよう、折り曲げて邪魔にならない位置に移動させてください。

手順 7 — MagSafe DC-In ボード



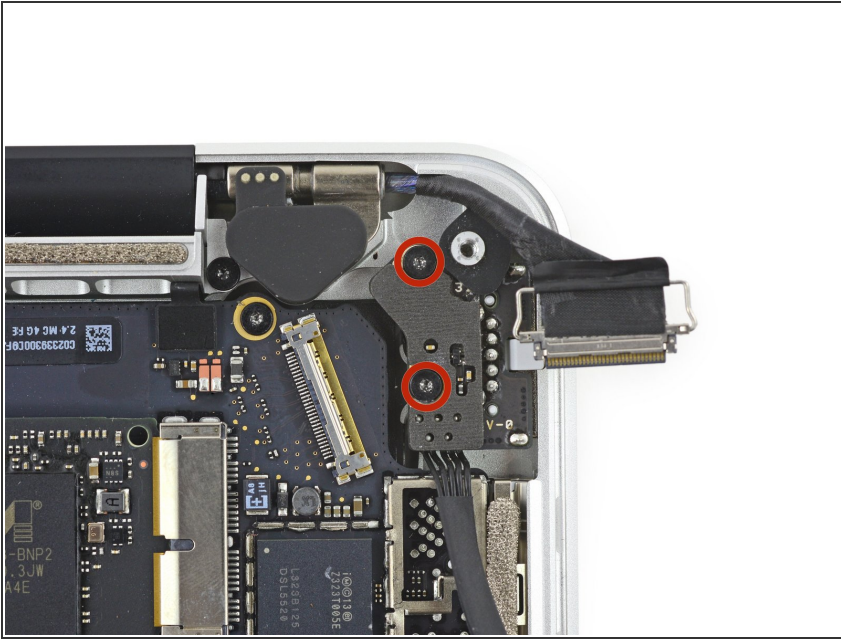
- 黒色のプラスチックタブを掴んで、ディスプレイケーブルのコネクタを裏返して、基板状のソケットからまっすぐ引き抜きます。
- ロジックボードと平行に、ケーブルの方向に引っ張ります。引き上げないでください。

手順 8



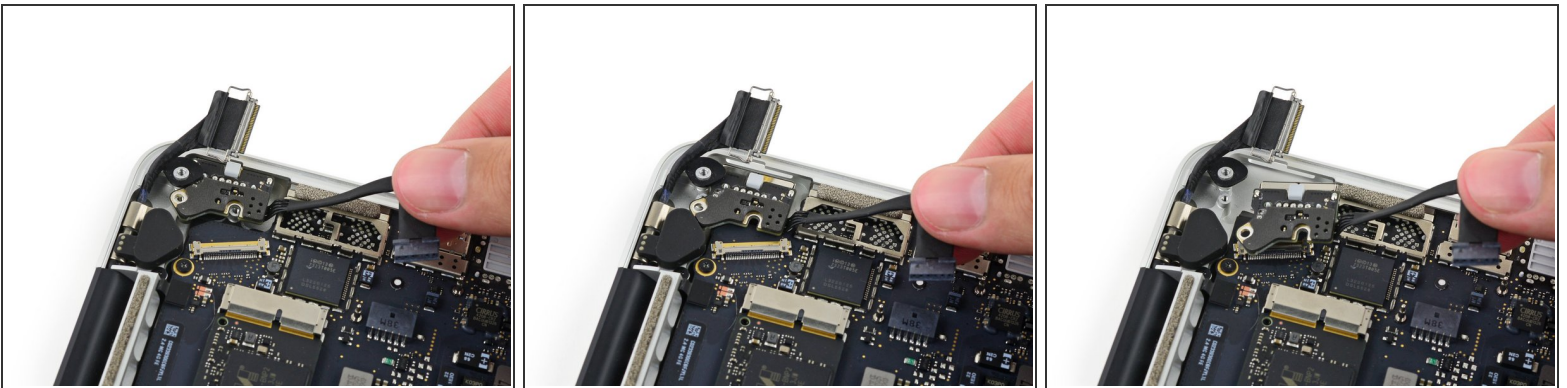
- DC-Inボードのコネクタを基板上のソケットからまっすぐ引き抜きます。

手順 9



- MagSafe DCボードと上部ケースを固定している3.5 mm T5トルクスネジを2本外します。
- ❗ ネジを露出させるために、ディスプレイケーブルを丁寧に押し上げる必要があります。

手順 10



- MagSafe DC-Inボードケーブルを使ってボードを引き、上部ケースから持ち上げて取り出します。

デバイスを再組み立てするには、この手順の逆の順番に従って作業を進めてください。